

# とやまの畜産

 2019



# 目次

I 畜産の現状	1
1 畜産の概要	1
2 酪農	2
3 肉用牛	3
4 養豚	4
5 採卵鶏	5
6 養蜂	5
II 草地と飼料	6
III 畜産環境保全	7
IV 家畜衛生	7
V 県内の消費動向	8
VI 組織	9



# I 畜産の現状

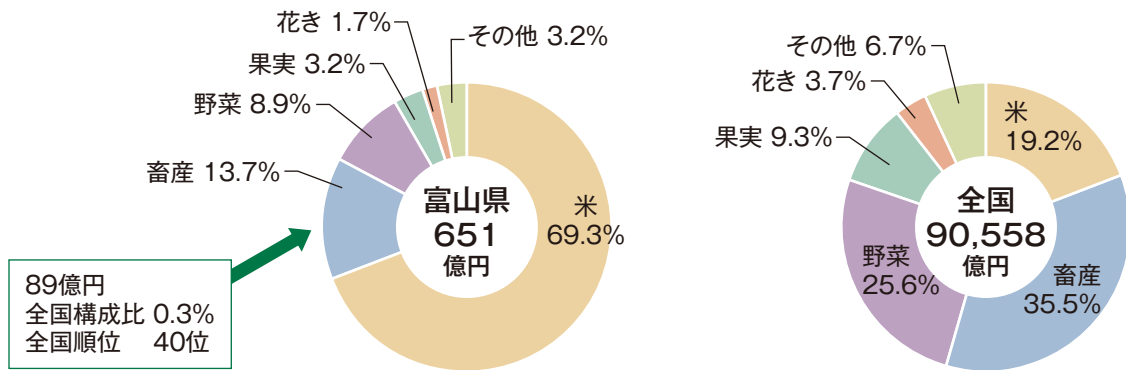
## 1 畜産の概要

(1) 全国的に見た富山県畜産の地位(平成30年)

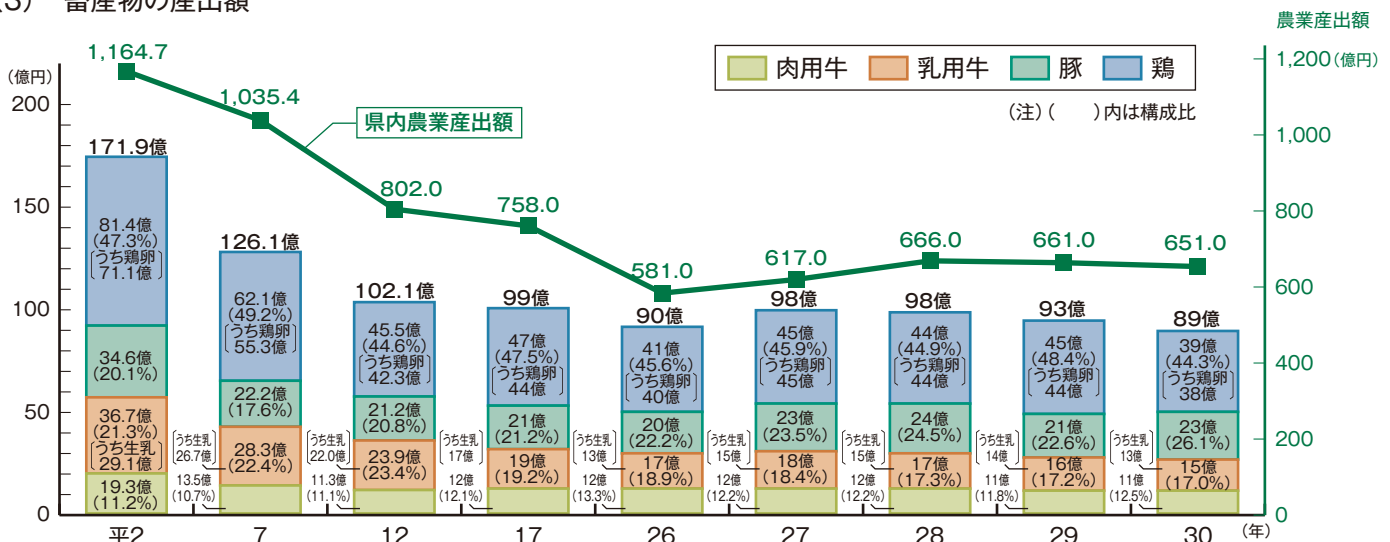
項目	単位	富山県	全国	富山県/全国	全国順位		
					平29	平30	
乳用牛	飼養頭数	頭	2,020	1,328,000	0.15%	43	43
	飼養農家数	戸	42	15,700	0.27%	44	44
	1戸当たり飼養頭数	頭	48.1	84.6	0.57倍	30	31
	生乳生産量	トン	11,597	7,289,227	0.16%	43	43
肉用牛	飼養頭数	頭	3,420	2,514,000	0.14%	42	42
	飼養農家数	戸	38	48,300	0.08%	45	45
	1戸当たり飼養頭数	頭	90.0	52.0	1.73倍	18	17
	牛枝肉生産量	トン	657.3	475,336	0.14%	45	45
豚	飼養頭数	頭	33,100	9,189,000	0.36%	35	35
	飼養農家数	戸	21	4,470	0.47%	35	34
	1戸当たり飼養頭数	頭	1,576.2	2,055.7	0.77倍	26	30
	豚枝肉生産量	トン	7,784	1,284,213	0.61%	33	33
採卵鶏	飼養羽数	千羽	1,265	181,950	0.70%	32	42
	飼養農家数	戸	18	2,200	0.82%	38	39
	1戸当たり成鶏めす羽数	千羽	63.0	63.2	1.00倍	21	25
	鶏卵生産量	トン	20,031	2,627,764	0.76%	30	30

農林水産省「畜産統計調査」、「牛乳乳製品統計調査」、「畜産物流通統計調査」平成30年次  
採卵鶏の飼養羽数、飼養農家数、1戸当たり成鶏めす羽数は、1,000羽以上飼養農家分。

(2) 農業産出額に占める畜産の割合(平成30年次)



(3) 畜産物の産出額



農林水産省「生産農業所得統計」  
※端数処理のため、計と内訳の数字は一致しない場合がある。

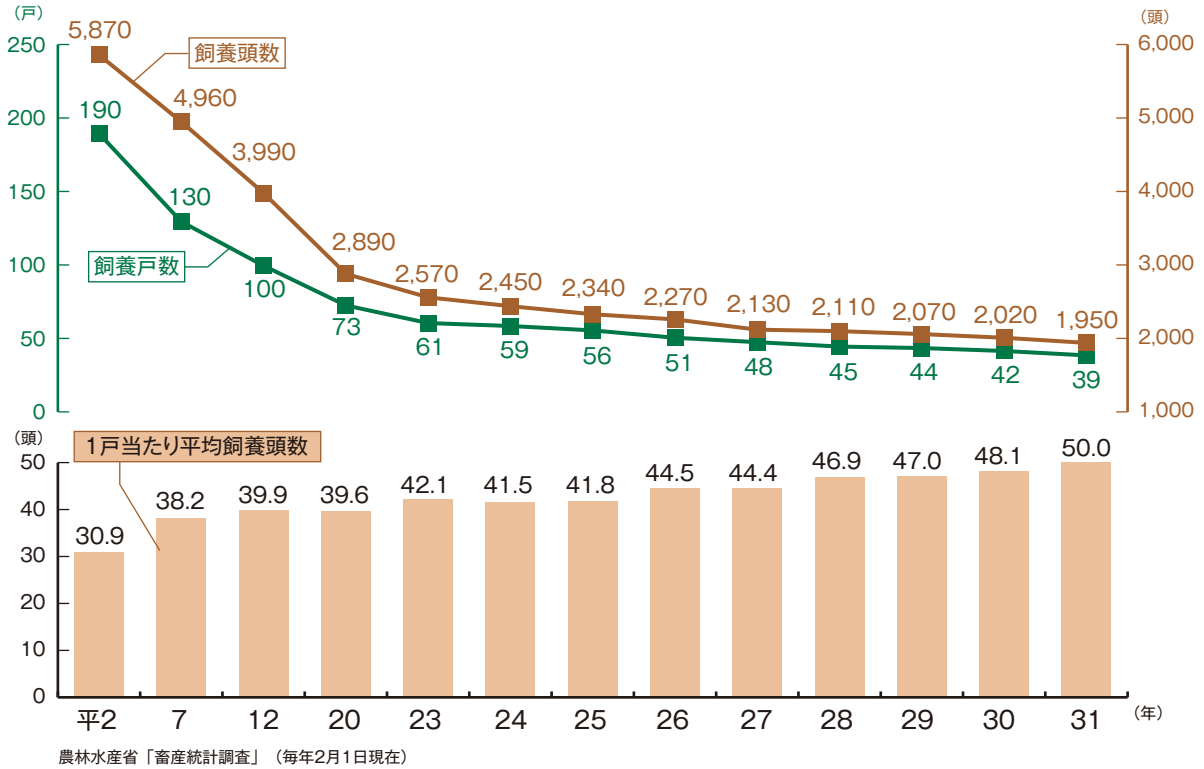
# I 畜産の現状

## 2 酪農

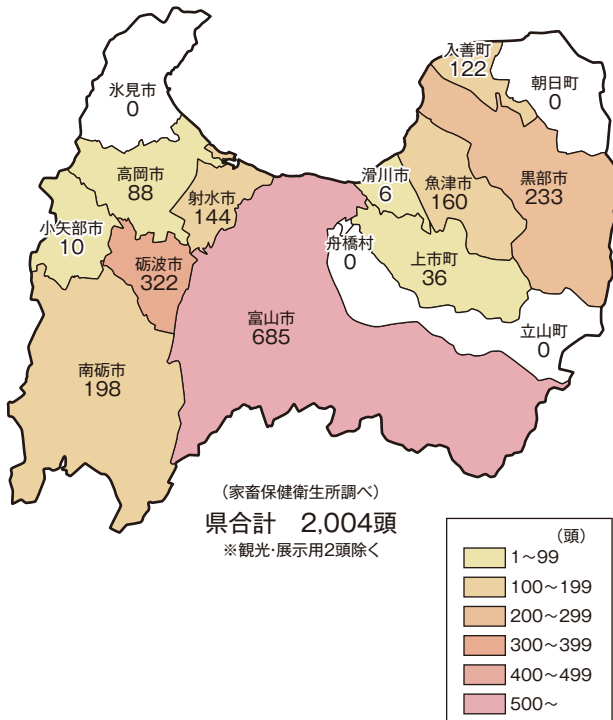
### 1. 近年の動向

飼養戸数は減少傾向であるが、平成31年の一戸当たり飼養頭数は50.0頭で28年から続けて過去最大値を更新した。(1960年以降最大、全国平均は88.8頭)

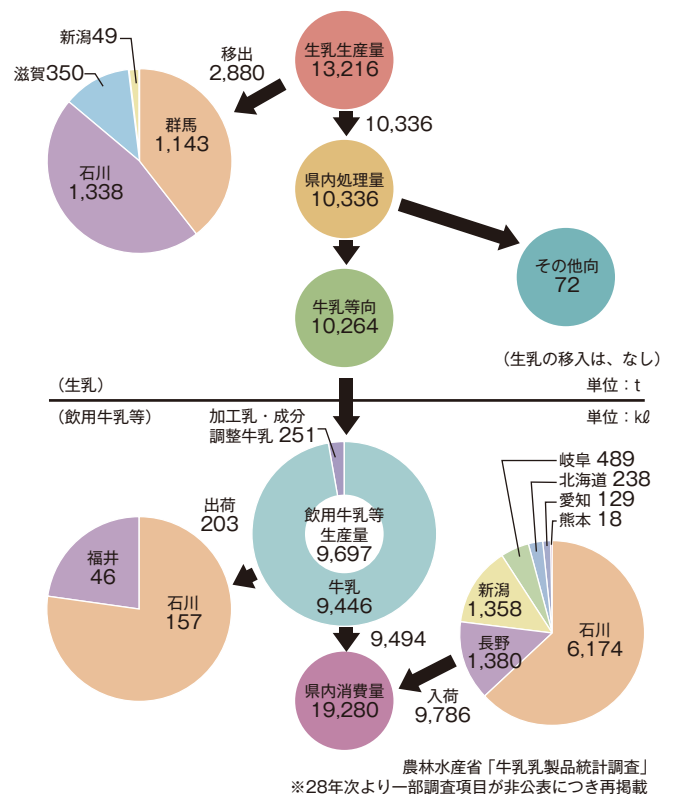
#### (1) 乳用牛の飼養



#### (2) 乳用牛の市町村別飼養分布 (平成31年2月1日現在)



#### (3) 生乳及び飲用牛乳等の流通 (平成27年次再掲※)



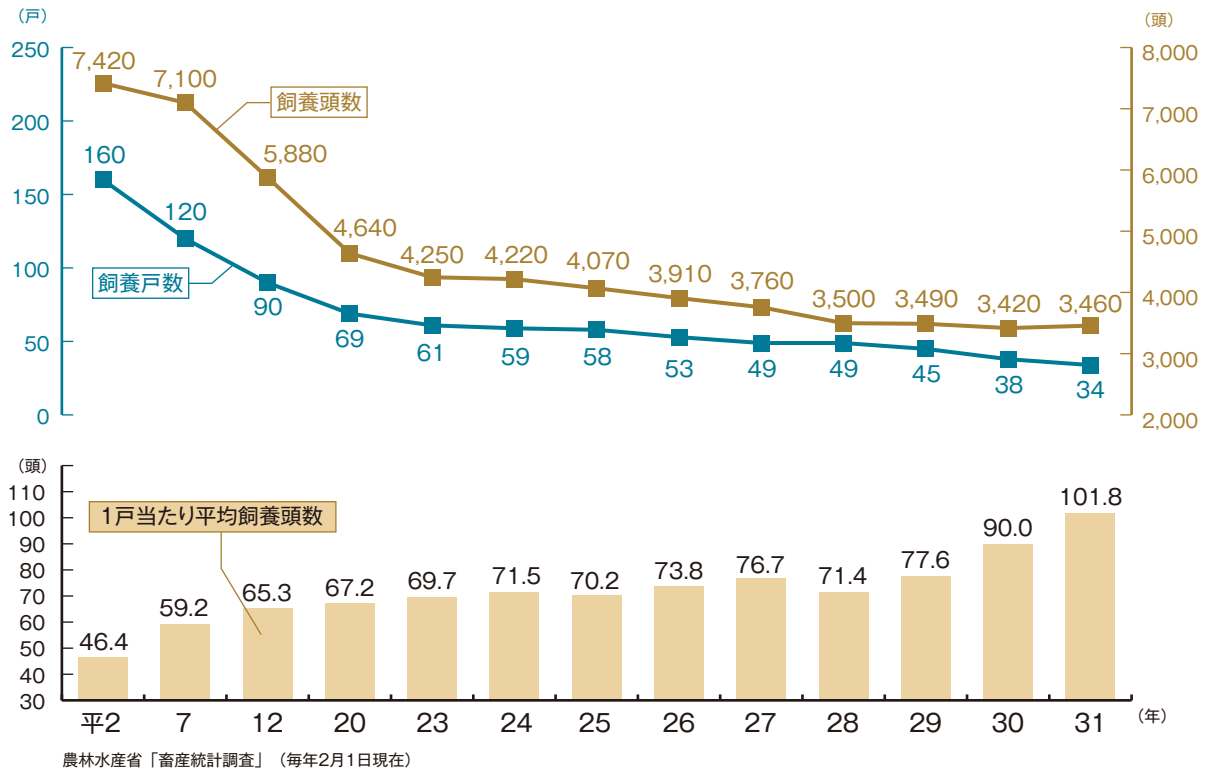
# I 畜産の現状

## 3 肉用牛

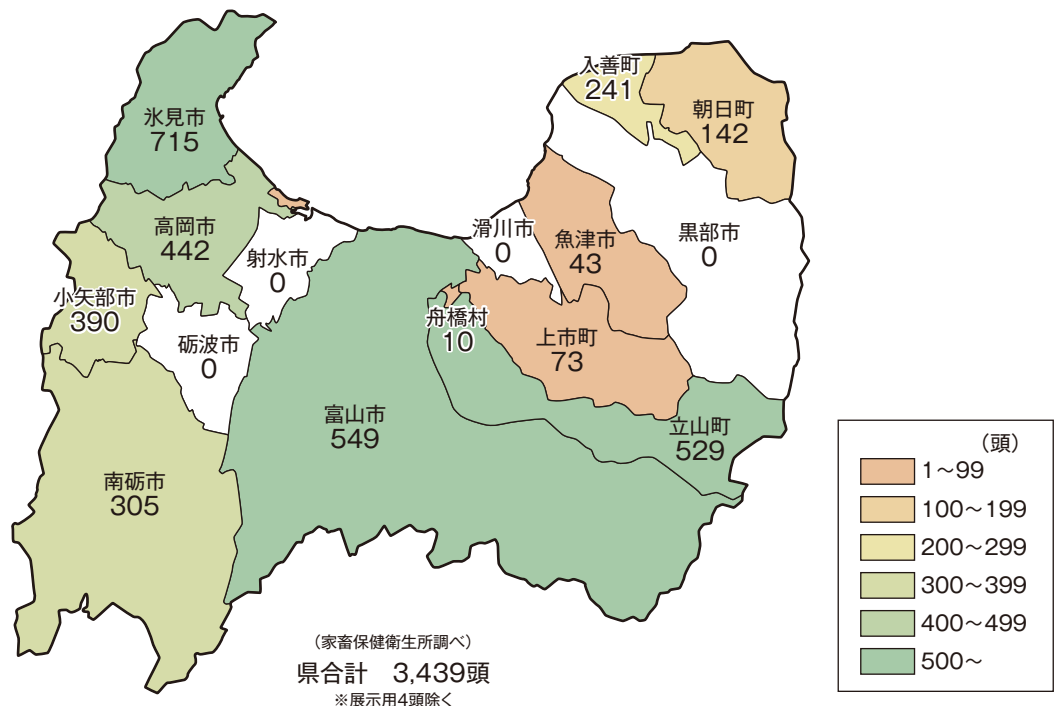
### 1. 近年の動向

飼養戸数は減少傾向であるが、平成31年の一戸当たり飼養頭数は101.8頭と過去最大となった。(1960年以降最大、全国平均は54.1頭)

#### (1) 肉用牛の飼養



#### (2) 肉用牛の市町村別飼養分布(平成31年2月1日現在)



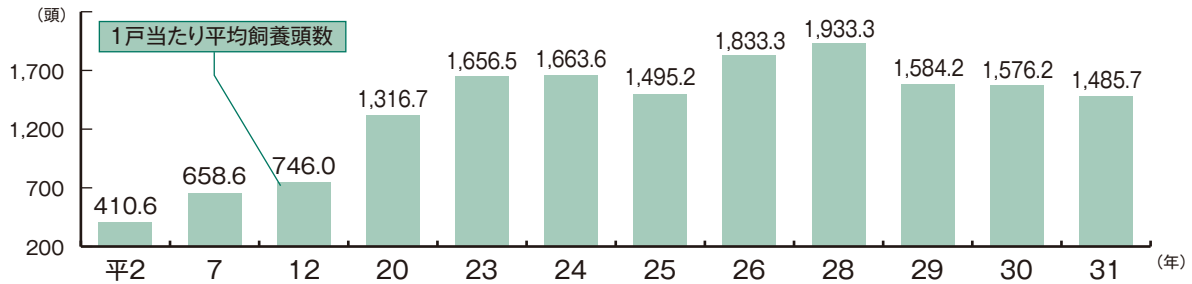
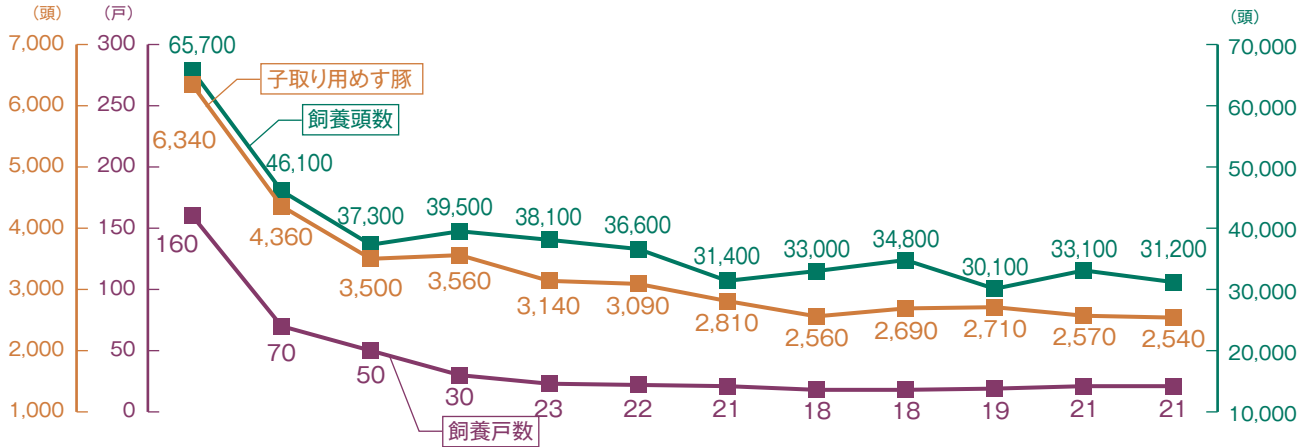
# I 畜産の現状

## 4 養豚

### 1. 近年の動向

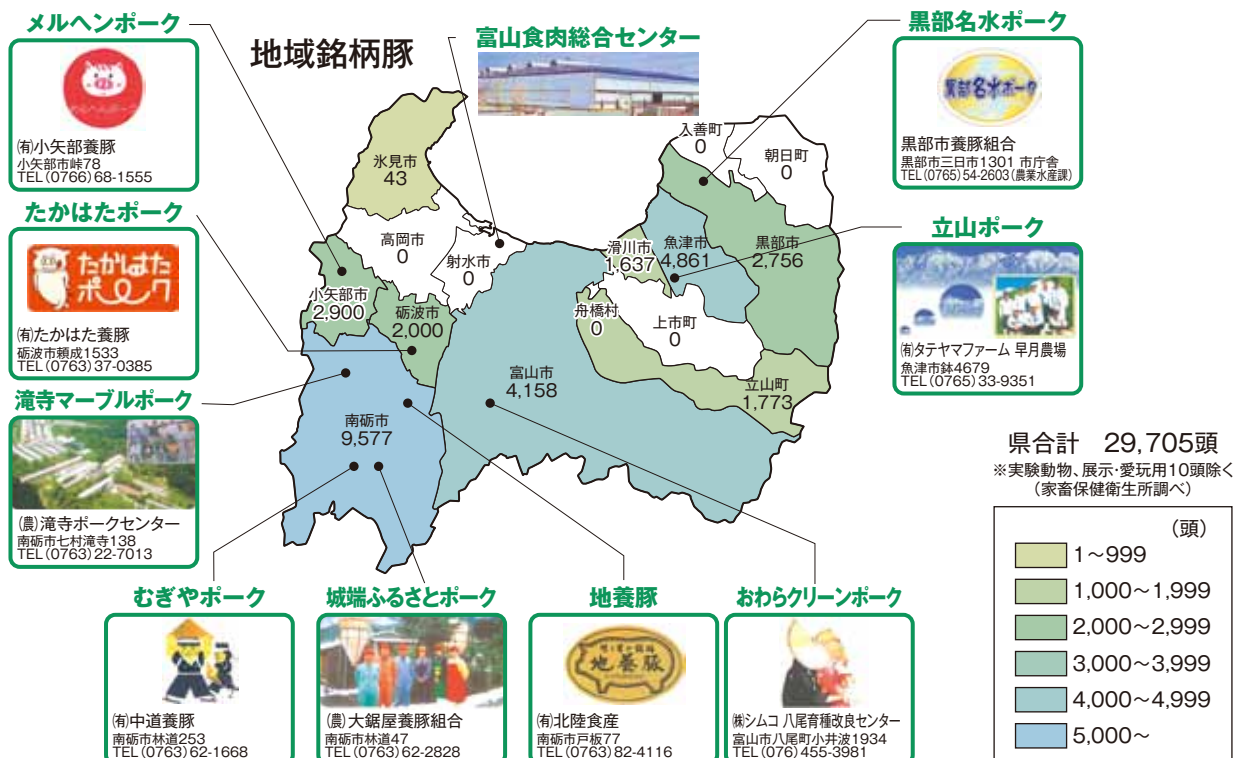
飼養戸数は横ばいで、一戸当たり飼養頭数は平成28年に過去最大となったが、31年は1,485.7頭(全国平均2,199.4頭)と減少した。

#### (1) 豚の飼養



農林水産省「畜産統計調査」(毎年2月1日現在) ※平成22年、27年の調査は、農林業センサスの実施に伴い休止

#### (2) 豚の市町村別飼養分布(平成31年2月1日現在)



# I 畜産の現状

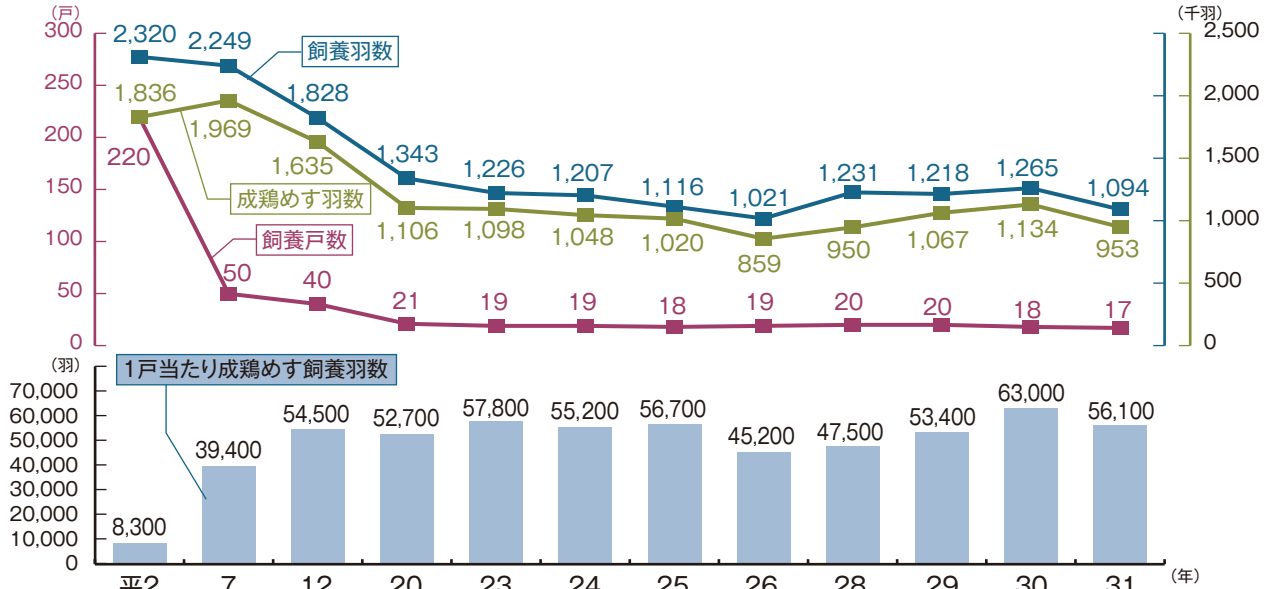
## 5 採卵鶏

### 1. 近年の動向

飼養者の高齢化、環境問題等により、飼養戸数は年々減少傾向にあったが、近年は横ばいである。

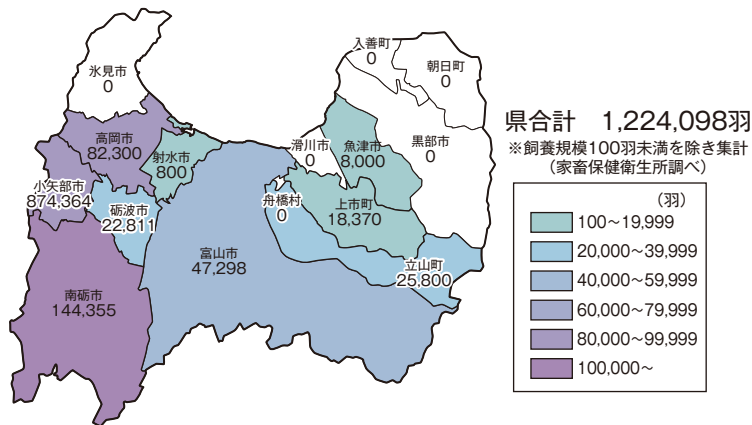
一戸当たりの成鶏めす羽数は、平成30年に過去最大となったが、31年は56,100羽(全国平均66,900羽)と減少した。

#### (1) 鶏の飼養

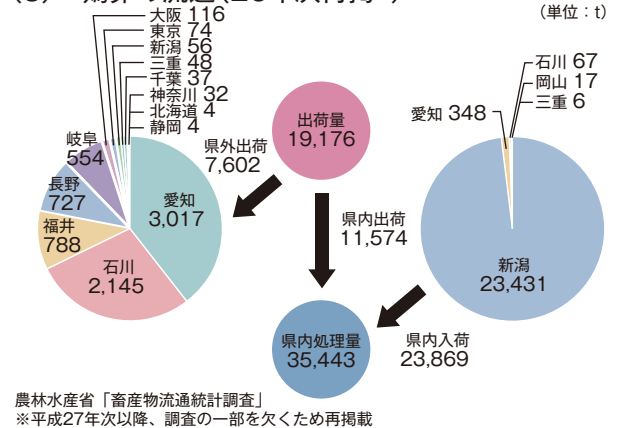


農林水産省「畜産統計調査」(毎年2月1日現在) (注)平成3年以降は300羽以上、平成10年以降は1,000羽以上の成鶏めす飼養者を調査対象としている。  
 ※平成22年、27年の調査は、農林業センサスの実施に伴い休止。

#### (2) 採卵鶏の市町村別飼養分布(平成31年2月1日現在)



#### (3) 鶏卵の流通(26年次再掲\*)



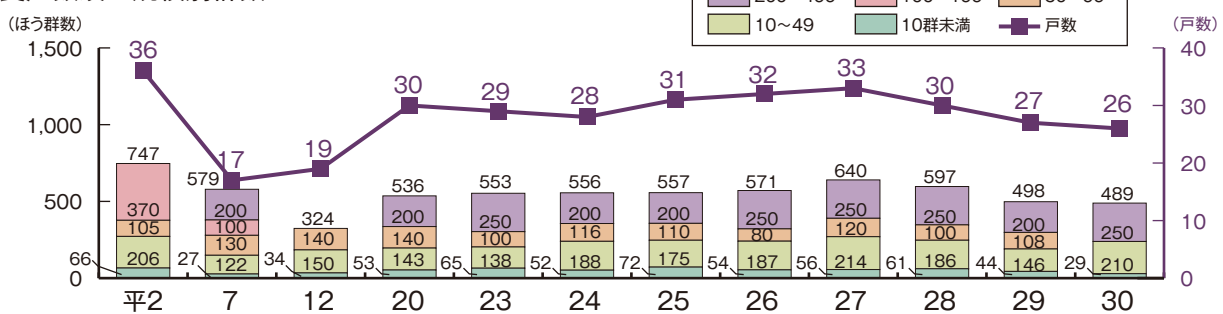
農林水産省「畜産物流通統計調査」  
 ※平成27年次以降、調査の一部を欠くため再掲

## 6 養蜂

### 1. 近年の動向

国産はちみつの需要増加に伴い、平成16年度から飼養群数が増加に転じており、近年は横ばいである。

#### 飼養戸数及び規模別群数



農業技術課調べ(1月1日現在)

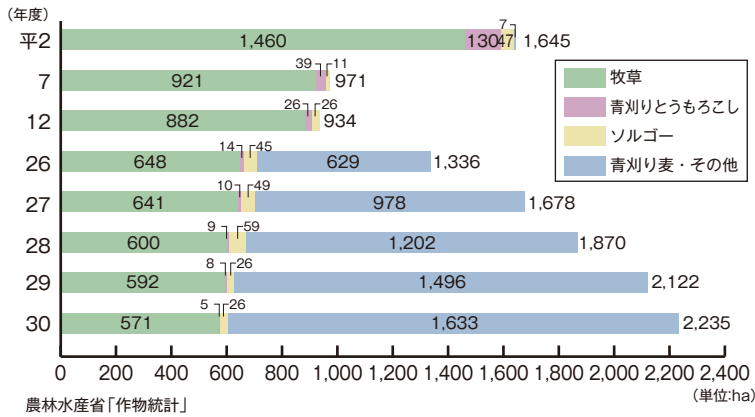
# II 草地と飼料

## 1. 近年の動向

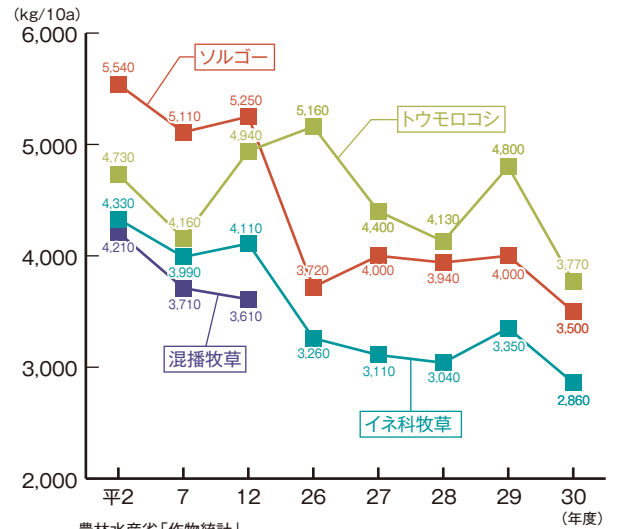
本県の飼料作物生産は、約88%を転作田に依存している。

飼料作物作付面積は、水田フル活用に向け、ソルゴー類などの高栄養長大作物の作付推進や二毛作の普及定着等により拡大に努めている。また、近年、稲発酵粗飼料及び飼料用米(その他飼料作物)の作付面積は、国の制度の見直しなどにより拡大し、作付は定着しつつある。

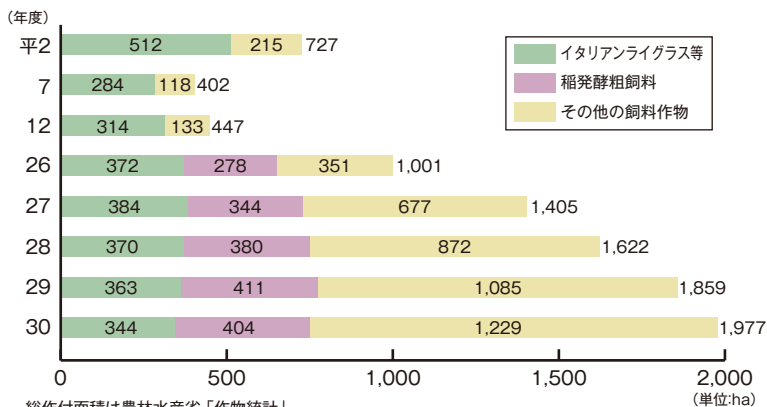
### (1) 飼料作物の作付面積



### (2) 飼料作物の収穫量



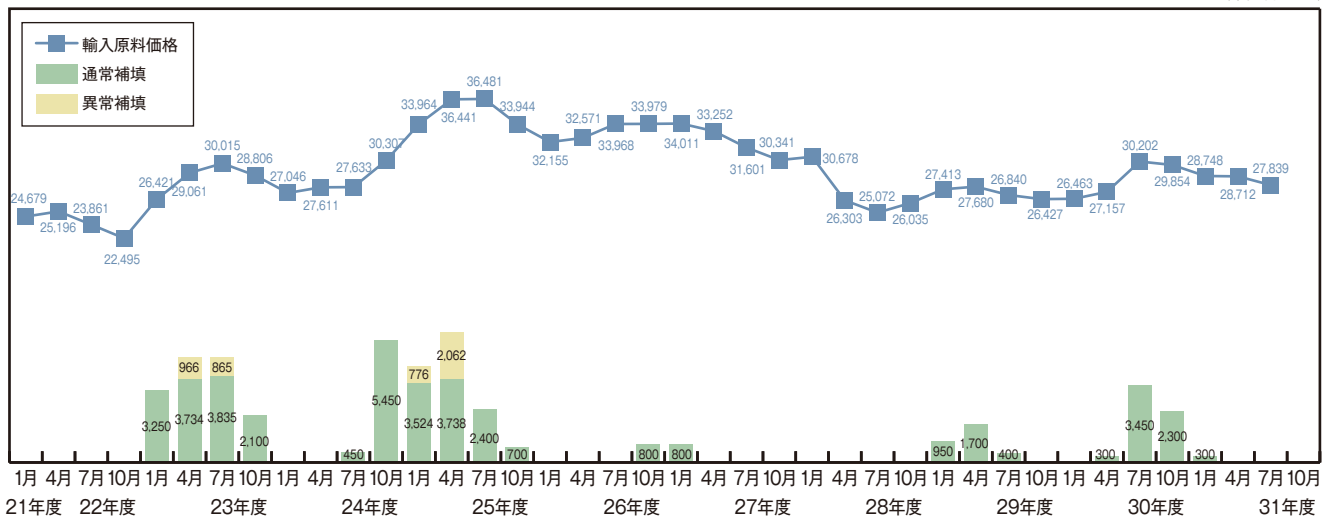
### (3) 転作飼料作物の作付面積



微細断型ロールベラーによる  
稲WCS専用品種の収穫(富山市)

### (4) 輸入原料価格の推移と配合飼料価格安定制度の補填の実施状況

(単位:円/トン)



注:数値は速報値。 資料:財務省「貿易統計」、(公社)配合飼料供給安定機構「飼料月報」



# III 畜産環境保全

家畜ふん尿の処理状況(平成30年12月1日)

畜種	家畜排せつ物(t)	堆肥化仕向(t)	堆肥化仕向(%)	浄化処理(%)	堆肥生産量(t)	経営内利用率(%)
乳用牛	34,862	33,048	94.8	5.2	19,653	54.9
肉用牛	28,461	28,223	99.2	0.0	15,544	37.2
豚	50,089	22,284	44.5	55.5	15,659	1.2
鶏	51,046	51,046	100.0	0.0	7,259	10.5
合計	164,458	134,602	81.8	18.0	58,115	30.1
共同処理堆肥生産量					32,604	



マニュアルブレッダーによる堆肥の散布(氷見)



BSE検査

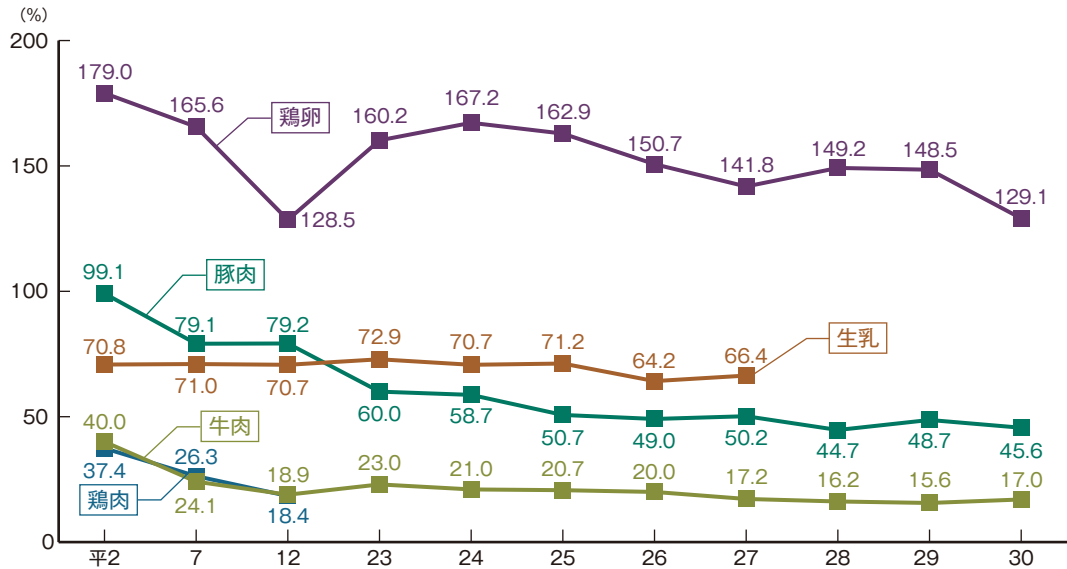
# IV 家畜衛生

主な家畜伝染病等の検査状況(平成30年)

検査	牛	豚	鶏	蜂	馬	めん山羊、野鳥等
BSE検査	BSE 162					TSE 15
細菌検査	サルモネラ症 577 乳房炎 1,208 呼吸器病関連 20 下痢関連 115	サルモネラ症 358 呼吸器病関連 51	サルモネラ症 1300 真菌 1	腐蛆病 507		サルモネラ症 9
ウイルス検査	下痢関連 67 呼吸器病関連 18 異常産関連 3	豚コレラ 37	鳥インフルエンザ 732 ニューカッスル病 12 鶏痘 3 伝染性気管支炎 3			
抗体検査	結核病 842 ブルセラ病 847 ヨーネ病 1,425 牛白血病 1,617 アルポウイルス関連 173	豚繁殖・呼吸障害症候群 861 豚コレラ 205 オーエスキー病 396 豚丹毒 271 豚流行性下痢 65	鳥インフルエンザ 1040 ニューカッスル病 840			
PCR検査	牛ウイルス性下痢・粘膜炎 1,432 牛ロタウイルス病 67 牛コロナウイルス病 78 牛白血病 415 牛トロウイルス病 78 牛RSウイルス病 18 牛パラインフルエンザ 18 牛伝染性鼻気管炎 9 牛アデノウイルス病 9 アルポウイルス 3 大腸菌症 17 黄色ブドウ球菌 12	豚流行性下痢 1 伝染性胃腸炎 1 豚サーコウイルス感染症 359 豚繁殖・呼吸障害症候群 240 豚コレラ 37 豚胸膜肺炎 11 豚パスツレラ症 5 サルモネラ症 23 豚レンサ球菌 39	伝染性気管支炎 6 鶏痘 3		レプトスピラ症 1	山羊関節炎脳脊髄炎 1
寄生虫検査	牛寄生虫病 142 ピロプラズマ病 137 肝蛭 68	豚寄生虫病 19	鶏寄生虫病 29			山羊寄生虫病 21
その他	代謝病等 340	代謝病等 16			代謝病等 3	代謝病等 28

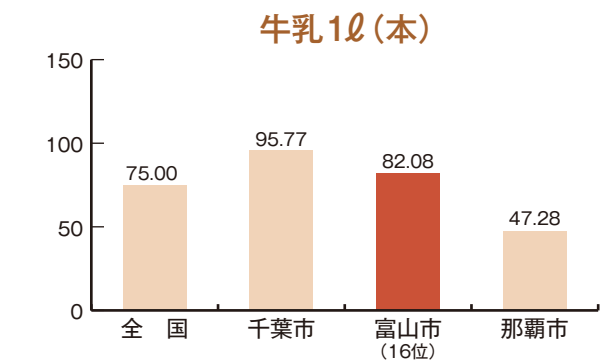
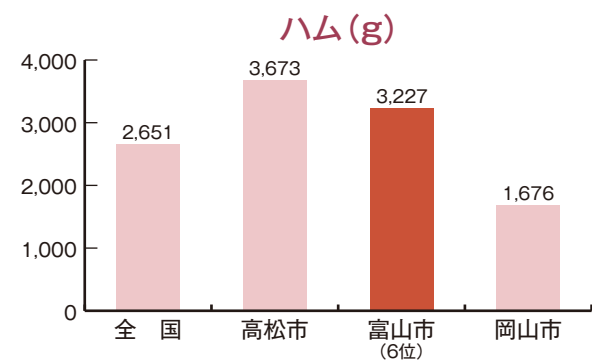
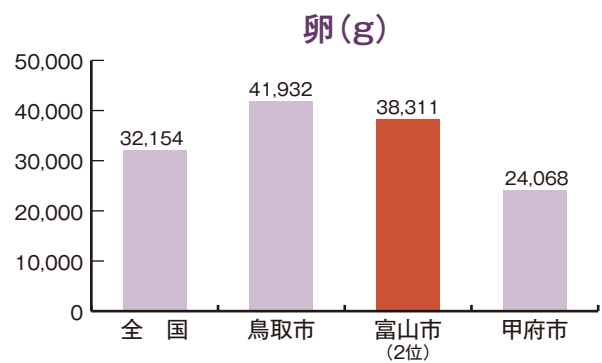
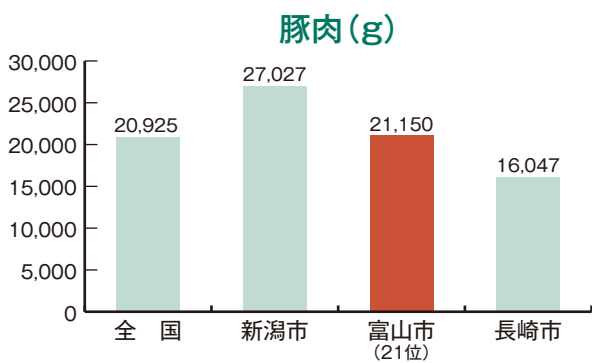
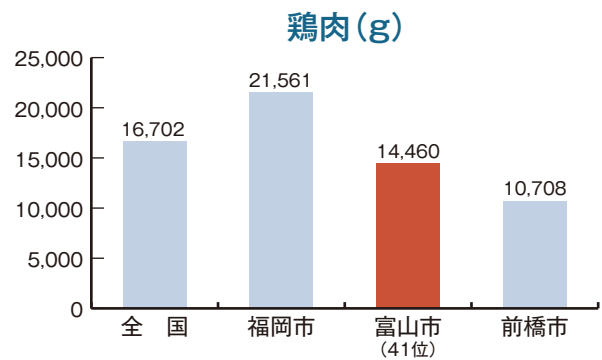
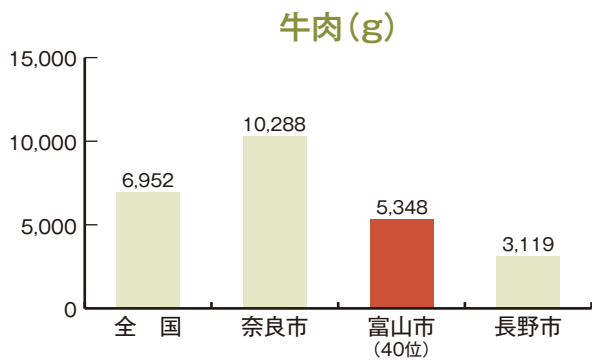
# V 県内の消費動向

## (1) 畜産物自給率の推移



農林水産省「牛乳乳製品統計調査」、「畜産物流通統計調査」、総務省統計局「家計調査」他  
 (注) 生産量は出荷ベース、消費量は供給純食料や世帯当たり購入量に人口、世帯数を乗じた推計値。  
 鶏肉は平成22年以降、生乳は28年より非公表又は調査を欠くため計算不能。

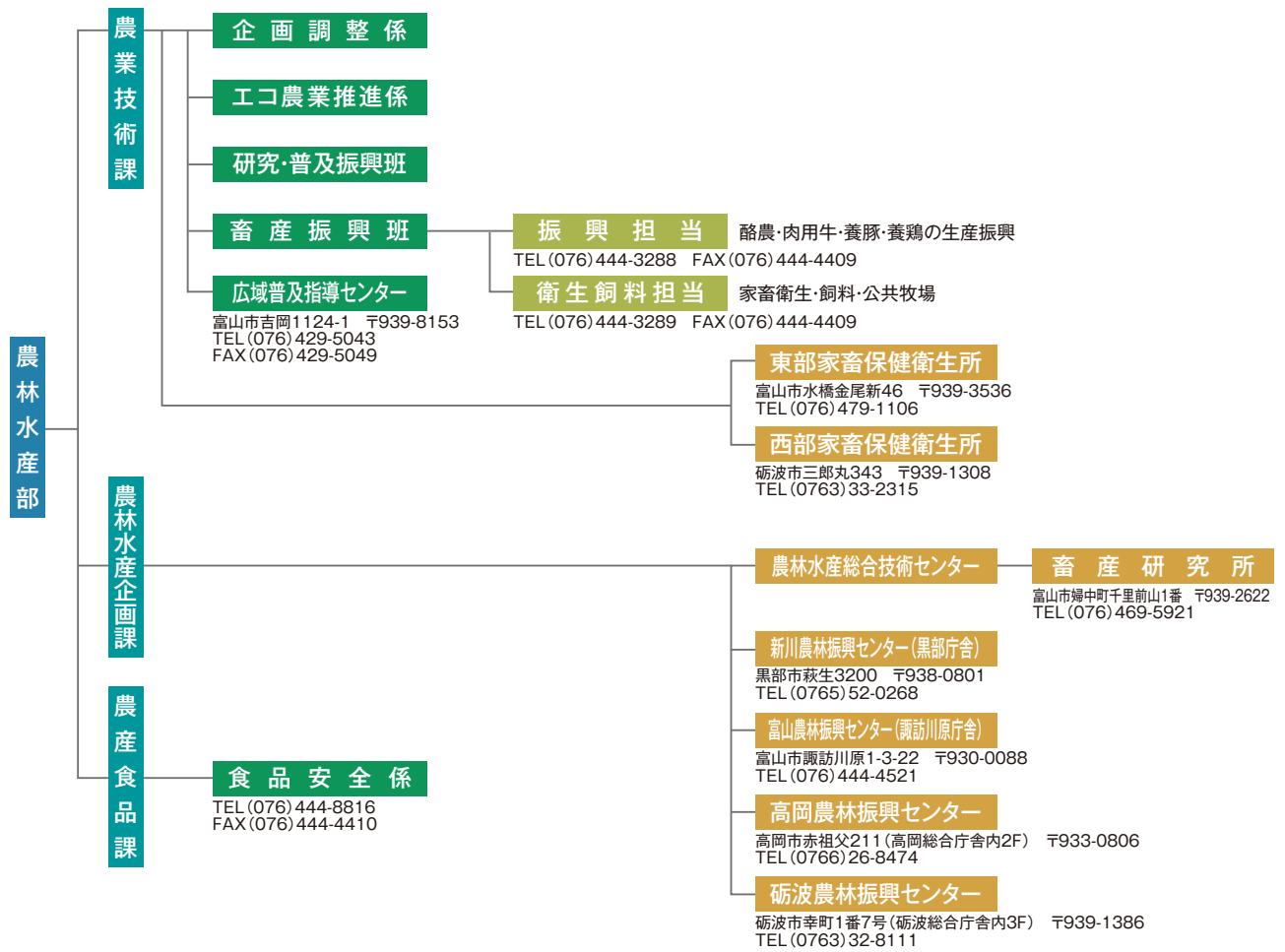
## (2) 1世帯当たり年間の畜産物消費量(平成30年次)



「家計調査」対象:都道府県庁所在地(47カ所)及び川崎市、浜松市、堺市、北九州市、相模原市の52都市  
 全国平均、最高都市、最低都市との比較を示す  
 (注) 二人以上の世帯

# VI 組織

## (1) 行政組織図



## (2) 主な関係団体

### 公益社団法人 富山県農林水産公社

富山市舟橋北町4-19 〒930-0096  
TEL (076) 441-7397

### 公益社団法人 富山県畜産振興協会

富山市手屋三丁目10番15号 獣医畜産会館内 〒930-0901  
TEL (076) 451-0117 (代表)

### 富山県乳牛協会(事務局)

### 富山県養蜂協会(事務局)

### 全国農業協同組合連合会 富山県本部畜産部

射水市新堀28-4 〒934-0035  
TEL (0766) 86-3700

### 富山県肉用牛協会(事務局)

### 富山県養豚組合連合会(事務局)

### 公益社団法人 富山県獣医師会

富山市手屋三丁目10番15号 獣医畜産会館内 〒930-0901  
TEL (076) 451-0120

### 一般社団法人 富山県配合飼料価格安定基金協会

富山市手屋三丁目10番15号 獣医畜産会館内 〒930-0901  
TEL (076) 451-1789

### 富山県養鶏協会(事務局)

### 株式会社 富山食肉総合センター

射水市新堀28-4 〒934-0035  
TEL (0766) 86-3600 (代表)





## 農林水産部 農業技術課

〒930-0004 富山市桜橋通り5番13号

富山興銀ビル10階

TEL (076) 444-3288 (直通：畜産振興班) FAX (076) 444-4409

TEL (076) 431-4111 (代表：本庁舎)

[http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/1612/](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1612/)

本庁舎所在地：〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号

※本庁舎宛てでも郵便物は届きます。